



おおた 区議会 だより

令和5年
第1回
定例会号

No.255

令和5年
4月25日発行

令和5年度 予算を可決

大田区議会は、令和5年第1回定例会を2月15日から3月10日までの24日間の会期で開きました。定例会では、区政の各分野における課題について、18名の議員が質問し、議論しました（詳細は、2～5面に掲載）。また、令和5年度予算を可決しました。

- 区長提出議案として、令和5年度予算案、条例案、条例の一部改正案、報告など49件が提出されました（令和5年度予算に対する各会派の意見は8～9面に、審議の結果など詳細は、10～11面に掲載）。
- 議員提出議案として、条例案2件、条例の一部改正案3件が、委員会提出議案として、条例案が1件提出されました（詳細は、10～11面に掲載）。
- 請願・陳情は、審議の結果、不採択8件、そのほかは継続審査となりました（請願・陳情の結果は、11面に掲載）。

発行／大田区議会

〒144-8621
大田区蒲田五丁目13番14号
電話 03-5744-1474 (直通)

<https://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>



大田区議会 検索



今号のイラストは、呑川沿いに咲く桜の様子をイメージしています。呑川は貴重な自然環境資源として、大田区を中心を流れる河川です。呑川沿いの随所に見られる桜並木は、地域の方から親しまれています。

予算が決まるまで

予算審査の進め方

大田区議会は、定例会を年4回開催することが条例で定められています。区の当初予算については、第1回定例会の中で審査し、議決します。

1 議案（予算案）提出

区の当初予算案が確定すると、第1回定例会で、区長から議案（議会で決める案件）として提出されます。当初予算案の概要は、大田区のホームページなどで公表されています。



2 委員会付託

議会に提出された議案の多くは委員会に送られ、委員会で専門的に審査します。これを「委員会に付託する」といいます。提出された予算案は、予算特別委員会設置後、同委員会に付託されます。



3 予算特別委員会

予算審査のために特別に設置される委員会です。予算案を詳しく審査し、討論・採決を行います。



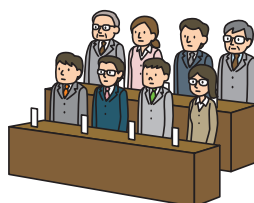
6 予算成立・執行

予算が成立すると、4月から執行が可能になります。年度途中で変更が必要になった場合は、「補正予算案」が生まれ、議案として付託委員会で審査、本会議で議決します。



5 議決

予算は本会議で議決（賛否のどちらかに議会の意思を決定）します。予算案を可決すると、区の「当初予算」の成立となります。



4 委員長報告

委員会で審査した付託議案（予算案）の審査結果を、委員長が本会議で報告します。



録画中継

本会議などの様子を録画したテレビ中継映像をインターネットで配信しています。



代表質問

質問と答弁は、質問者がまとめた要旨を掲載しています。詳しくは、区議会ホームページの会議録をご覧ください。



自由民主党大田区民連合 湯本良太郎 松原区政16年の集大成を未来に引き継ぐ



令和5年度予算編成にかけた思いについて

問 任期最後となる5年度予算案の感想と思いを伺う。

答 目下の感染症や物価高騰への対応、少子化対策、脱炭素化への対応、区の発展の礎となるまちづくりなど、持続可能な都市をいかに実現していくか、難しいかじ取りが求められる編成作業であった。限られた財源を区民生活に欠かせない学校施設の環境改善や公共施設の維持更新、都市インフラの整備などに積極的に振り向けている。豊かな暮らしを支え、次世代に引き継ぐ施策を心掛け、本予算案を取りまとめた。

問 増加する新たな行政需要に対応するための財源の確保、既存の事務事業に係るコスト負担について伺う。

答 5年度予算案は、区民生活・区内経済を支え、安全・安心を確保する喫緊の課題をはじめ、世帯構成の変化、地域課題を捉えた包括的な地域づくり、地域経済の持続的な発展と魅力あるまちづくりなど、行政ニーズを反映した政策を盛り込み、過去最大の規模となった。特別区民税は、個人所得の増加などにより前年度比2.7%増の約734億円を見込んでいます。特別区交付金は、前年度比6.2%増の約797億円を見込んでおり、増収を活用し、新たな施策の構築を図ることができた。計画的

活用した事業者の成長を継続的に調査・分析し、産業支援施策の成果の見える化に取り組んでいく。

国際教育について

問 グローバルコミュニケーション教育とは、どのような目的や内容で実施するのか、教育長の見解を伺う。

答 子どもたちが英語力を向上させるとともに、国際的な視野を持ち、外国籍の人たちと積極的にコミュニケーションを図り、共に生きていく資質・能力の育成を目指している。大森東小学校をおおた国際教育推進校とし、様々な国の歴史や文化を学び、英語を活用して発信する。また、英語の学びを深めるため、学習環境を整備していく。その成果を他校の国際教育にいかしていく。

治安の良い大田区について

問 多くの人が選ばれる大田区になるために安全・安心なまちづくりの更なる取り組みが望まれる。見解を伺う。

答 治安向上のための施策として、自治会・町会、商店街と連携し、約1500台の防犯カメラを設置するとともに、学校や通学路への設置も進めてきた。地域の実情に合わせた学校や通学路への追加の設置について検討していく。

区長の描いた社会実現について

問 区長が16年前に思い描いた社会に近づけたのか伺う。

答 困難を乗り越え、当初思い描いた以上に、地域と共に大田区は大きく成長できたと感じている。区民、区議会、関係者の方に、心から感謝を申し上げる。



日本共産党大田区議団 大竹辰治 平和でも、暮らしでも、希望が持てる区政へ

大軍拡ストップの平和の区政へ

問 岸田政権が行っている大軍拡路線は、先の定例会での「大田区平和都市宣言」を引用した区長答弁の立場と反対であると考えますが、見解を伺う。また、平和への思いを一つにするため、平和への発信を求めらる。

答 各種事業を着実に進めていくことで、平和への発信を行っていく。地方自治体の役割を果たし、暮らしに希望が持てる新年度予算へ

問 今予算案のプレミアム付商品券は消費喚起であり、事業者支援はゼロカーボンに向けた設備投資への融資であり、低所得者を含めた物価高騰対策にはならない。区民が一番関心の高い物価高騰対策を予算にどう反映させたのが不明確である。物価高騰による区民への影響調査と対策を求めらる。

答 個々対象の直接的支援は慎重に捉え、影響調査の予定はない。問 物価高騰で緊急事態の中、新型コロナウイルスで1年間延長された公共施設使用料の約8千万円の値上げが受益者負担を理由に2022年度から行われた。考えを改め、値上げ前に戻すことを求めらる。

答 受益者負担の考えのもと、公平性から利用者に負担してもらおう。問 都の第2子の保育料無償化により区負担分が減額されるが、これを財源に子育て支援策を充実すべき。

答 安心して子どもを産み育てられる環境づくりに取り組んでいく。問 新年度で16億円余の予算額となり、議会や区民に説明責任を果たしておらず、360億円以上の税金が投入される予定で区民が犠牲になりかねない新空港線や沿線まちづくり計画の白紙撤回を求めらる。

大竹辰治



着実に推進していく。

問 事務事業見直しで削減された施策は、区民が真に必要とする施策ではないと考えているのか。これは障がい者など社会的弱者と言われている方への予算の切り捨てであり、予算を増額すべき。

答 見直し・再構築は精査の結果であり、予算を増額する考えはない。問 公共施設の工事など、職員の技術の継承や高度な課題に対応するためにも、技術を継承する体制・計画を作ることや正規職員を増やすことを求めらる。

答 組織体制の整備に努めていく。問 選択的夫婦別姓・同性婚を国に求めることや、パートナーシップ条例の制定などを区に求める。

答 引き続き、国などにおける議論の状況を注視していく。



ホームページのご案内

議会の新着情報や議員名簿、会議日程などをお知らせしています。ぜひご利用ください。



詳細は /

大田区議会

検索

簡単 アクセス!



議会ライブ中継のご案内

本会議及び予算・決算特別委員会の様子を、デジタルサイネージ(電子看板)などでライブ中継しています。中継をご覧になれる施設は、次のとおりです。

- 区役所本庁舎1階ロビー ●大田区民ホール・アプリコ
●特別出張所(18か所) ●大田区産業プラザPiO
●大田区総合体育館

用語解説

*おおた国際教育推進校 (2面3段・14行目)

国際都市おおたの実現に資する国際教育を推進するための事業である。大森東小学校がおおた国際教育推進校として指定され、令和5年度から「おおたグローバルコミュニケーション(OGC)」の学習を開始する。



会議録検索システム

区議会の会議録を検索・閲覧できるシステムを区議会ホームページに掲載しています。

詳しくは、区議会ホームページの会議録をご覧ください。



大田区議会公明党

松本 洋之

住んでいてよかった と感ずる大田区に

ふるさと納税で財源が流出している問題について

制度に反対とだけ言っているも流れは止まらず、税収減で区政運営に影響を与えている現状を区民に説明できるものではない。危機感を持つべきであるが、区の見解を伺う。

令和5年度予算案で推計すると約59億円の影響が見込まれ、看過できない状況である。制度の見直しを引き続き強く求めていくとともに、区の魅力ある取り組みや区が持つ様々な資源を応援する形で寄付を募るなど、税収減への対応策について、他区の動向も注視しつつ、危機感を持ち、検討をしていく。

ワンストップ窓口について

多様化する区民ニーズに的確かつ効率的に対応するために、デジタル技術を活用した窓口を開設することにメリットがあると考えるが、区の検討状況を伺う。

区は情報化推進計画において、「利便性の高い行政手続き窓口サービスの推進」を掲げ、時間・場所を問わず手続きができるよう、マイナポータルなどにおける各種電子申請をデジタルの窓口としてオンライン上でサービス提供に切り組んでいる。今後も、子育て・就学関連の手続きなどのオンライン化を進め、多様化するニーズに適したサービスを提供していく。来庁者の目的を可能な限り1か所で案内できる仕組みを設置・拡大し、来庁者にとってのワンストップ窓口を実現していくことが、将来的には総合的なワンストップ窓口の創設につながっていくものではないか。区の見解を伺う。

答 目的、分野ごとのワンストップ



令和5年度区議会議員(無所属・5選)

植田 智一

松原区政16年と これからの大田のまちづくり

大田区の観光について

区長が「生みの親」であるといえるはねびよんの人気を更に高め、それを通じた大田区の「知名度の向上や注目される自治体」となるための取り組みに一層注力すべきと考えるが、はねびよんに対する区長の思いとあわせて見解を求めらる。

大田区公式PRキャラクターであるはねびよんは、区制70周年を目前に控えた平成28年に誕生した。その名前は、多くの応募の中から大田区だけが持つ日本の空の玄関口「羽田空港」の「はね」と、そして桜の名所や銭湯などの地域資源を「びよん」と駆け巡るさまを表し、はねびよんと名付けた。

鉄道とともに発展する大田のまちをつくり、それを残していくことが大切である。無秩序な開発を防ぎ、新空港線整備の効果がまち全体に行き渡るよう、地域の方と同じ方向を向いてまちづくりを進めていくことが重要である。都市開発の機運を醸成し、民間活力も最大限に引き出しながら効果的・効果的な都市経営をしていく。

英語教育の推進について

「国際都市おおた」としても、英語によるコミュニケーションスキルを更に向上させるために、早期から英語学習に取り組む推進校の指定と構想について伺う。

おおた国際教育推進校として指定している大森東小学校では、実用的な英語によるコミュニケーション能力を育成している。積極的に英語を使ってコミュニケーションしようとする意欲と自信を育て、他の小学校にも普及するように検討を重ねていく。

答 鉄道とともに発展する大田のまちをつくり、それを残していくことが大切である。



もので、これまで私も常に胸に付け、様々な場面で一緒に活動してきた。区制70周年という節目を一緒に迎えられることも含めて、このかわいらしいはねびよんとともにいろいろな場面で大田区のPRに努め、まさに二人三脚で「びよんびよん」と跳び回ってきたと考えている。おかげさまではねびよんも多くの方に応援してもらえようになり、熱烈的なファンの方も見受けられるようになった。こうしたはねびよんの魅力をより多くの方に伝える取り組みを続けていくことは、大変重要なことだと考えている。はねびよんへの興味をきっかけに、大田区に注目し、実際に訪れてくれる方が増えれば、区内での経済循環の創出にもつながり、区内産業の柱の一つとして観光産業が更に発展していく。こうした好循環を生み出す産業政策はもとより、区を積極的にPRする広報施策をはじめ、様々な区政の取り組みを周知していく、まさに「公式PRキャラクター」として、はねびよんがますます羽ばたいていくことを大いに期待している。

これまでの区政運営について

区組織をけん引する上で何を大切にしてきたか。また、区長の政策を具体化するには職員一人ひとりの力が結集しなければ成しえなかったと考えるが、共に戦ってきた職員に対する思いを伺う。

4千人以上の職員により構成される大田区役所という大きな組織を率いてきた区長として、私は大田区が何を目指し、どういった方向性で行政運営を進めるのか、自ら先頭に立ち、区民や関係団体など、様々な声に耳を傾けながら、

あらゆる機会において、職員に区政運営の大きなビジョンを明確に示し、浸透させることを大切に示してきた。職員一人ひとりの仕事は多岐にわたり、個々の成すべき目

区長挨拶 (抜粋)



松原 忠義
区長

新型コロナウイルス感染症

令和5年1月20日に岸田総理より「新型コロナウイルス感染症法上の位置付けを、患者を原則隔離する2類相当からインフルエンザと同等の5類に変更する」旨の発言があり、1月27日には国の対策本部より5月8日から変更するものとして、その方針が示されたところで、これは極めて大きな変更となるため、区では国や都の動きを注視し、適切に対処してまいります。また、オミクロン株対応ワクチンなどの4年秋開始接種は、約30万人の方が接種を完了しており、今後も安全・安心なワクチン接種に切り組んでまいります。

(仮称)大田区子ども家庭総合支援センターの開設

児童相談所運営の中核的な人材となるスーパーバイザー育成に向け、職員の再派遣などを強化してまいります。また、5年度は一時保護所職員などの支援スキル向上のため、「児童自立支援施設」への派遣を予定しております。施設整備においては建設工事の大方のスケジューリングが定まったところがございます。こうした状況を踏まえ、これまで「8年度以降」としていた開設時期について、「8年度中の開設」を目指して準備を加速させ、一元的かつ総合的な子ども家庭支援体制を構築し、おおたの子どもを守るため、開設に向けて着実に準備を進めてまいります。

新空港線とまちづくり

区の40年来の悲願である新空港線に関し、4年は大きく前進した一年でした。長年の課題となっていた地方負担分の都区の費用負担

標は様々なが、区として目指すビジョンを明確にすることで、日々区民福祉の向上というゴールに向かって一致団結してまい進することができたものと考えます。

割合などについて合意し、整備主体となる羽田エアポートライン株式会社を設立するなど、事業化に向け大きく進展いたしました。大田区新空港線「蒲蒲線」整備促進区民協議会では、「鉄道と魅力的なまちづくり宣言」を行い、蒲田をはじめとする区内のまちづくりを加速させ、これまで以上に魅力溢れ、環境にやさしく、人が交流してにぎわう大田のまちになるよう取り組みを進めてまいります。

新年度予算編成

5年度は、「地域課題に立ち向かい、ひととまちに寄り添い、豊かさで成長が両立する持続可能な未来への歩みを着実に進める予算」と位置付け、予算編成上の重点課題として3つのテーマを掲げました。1つ目は「感染症をはじめエネルギー問題や自然災害など危機に直面する区民生活を支え、地域の強靱化により安全・安心を確保する取組」、2つ目は「安心して子どもを産み育て、学びやすい環境づくりを進め、誰もがライフステージに応じて活躍し、成長を支える包摂的な地域づくりに向けた取組」、3つ目は「デジタル技術の活用やSDGs、脱炭素を意識し、地域経済の持続的な発展と快適で魅力ある都市機能の向上により都市間競争に打ち克つ取組」の3つでございます。これらの課題に優先的に対応するとともに、事務事業の成果向上とコスト精査を通じ財政の質を高めて、その健全性を維持し、既存施策の延長線にとどまらず、区の成長を高める実行力ある施策の構築に向け、大胆な発想で施策の新陳代謝を積極果敢に進め、限りある経営資源を効果的・効率的に配分いたします。

録画中継

本会議などの様子を録画したテレビ中継映像をインターネットで配信しています。



一般質問

質問と答弁は、質問者がまとめた要旨を掲載しています。詳しくは、区議会ホームページの会議録をご覧ください。

大田区議会公明党



岡元 由美

がん患者への支援について

問 都の補助事業を活用し、医療用ウィッグの購入費を補助する制度を新設すべき。区の見解を伺う。

帯状疱疹ワクチンの接種費用の助成について

問 都の補助を活用して助成を実施すべきと考える。区の見解を伺う。

答 帯状疱疹は治療後も後遺症として痛みが残ることもあることから、ワクチン接種は、安心して生活を送るために有効である。今後、帯状疱疹ワクチン接種費用の助成の実施について検討を進めていく。

産前・産後の母親に寄り添った支援について

問 妊産婦に対してどのような切れ目ない支援をしていくのか、伺う。

答 孤立化と不安を解消するための切れ目ない支援は、児童虐待や妊産婦の自殺を未然に防止する上で大変重要である。全ての妊産婦の潜在的ニーズの把握に努め、切れ目ない伴走型相談支援を更にきめ細かに実施し、関係部局が一層緊密に連携して母子保健と児童福祉の一体的な支援を進めていく。

不登校対策について

問 区の不登校出現率は国や都を大きく上回っている。欠席が長期化しないための対策を伺う。

答 学校から児童・生徒や家庭へ不断の働き掛けを行うことを、改めて管理職や教職員に周知していく。

また、ケース会議を継続的に開き、地域社会総がかりの組織づくりを行うよう、各校に働き掛ける。不登校状態にある児童・生徒一人ひとりを常に意識できる教師であることが、最大の不登校対策である。誰一人取り残さない教育活動を実現できる教師を育成していく。

大田区議会公明党



広川 恵美子

大田区の公共施設整備について

問 コストを意識した施設整備の根幹は、施設数を減らすことにある。公共施設の集約化・複合化による移動の負担については、次世代を見越した交通政策と抱き合わせが必要と考えるが、区の見解を伺う。

答 大田区交通政策基本計画の中で、ライフスタイルに応じて様々な移動手段を選択できる交通サービスの提供を基本方針の一つとして掲げている。将来を見据え、新技術を活用した交通施策の推進とそれに合わせた公共施設の削減について、様々な角度から検討を進めていく。

問 公共施設の利活用に係る売却と集約化の両立について、区の見解を伺う。

答 区では施設重視から機能重視への転換による施設の集約及び有効活用といった考えのもと、施設の複合化に加え、類似機能については、集約化を進めている。今後も施設の複合化や集約化をはじめ、未利用地の売却による総量抑制を進めるなど、効果的・効率的な施設マネジメントによる区民サービスの維持・向上を実現していく。

産業振興構想について

問 経営者や従業員の高齢化が進む中、産業が維持発展するための事業継承・廃業の支援について、区の見解を伺う。

答 令和4年より産業プラザにPFIフロントを設け、最適な専門家や機関を紹介し、支援も行っている。廃業についても手続きや税金など、様々な専門家と連携して、ワンストップで対応できる体制を整えている。各企業の個別の状況や社長の意向にしっかりと寄り添うことで、事業を終える方にも安心して手続きを進められるよう、しっかりと取り組んでいく。

日本共産党大田区議団



黒沼 良光

「公民連携」は、市場取引が原則で民間に利益を与えるので、公の責任で区政運営すべきと考える。区の見解を伺う。

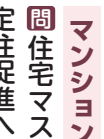
問 公民連携は、市場取引の原則を持ち込み、民間大企業に利益の機会を与えるものである。区は、福祉施策で直営を基本とすべき。

答 公民連携は公的責任を否定するようなものではない。指定管理者制度では、サービスの向上にはならないことについて

問 公民の施設は、税金に基づく租税民主主義でなければならぬのに、もつけない機会にしてしまった。指定管理者制度は直営に戻すべき。

答 本制度は、サービスの質を向上し、施設の設定目的を効果的に達成することを目的としている。ゼロカーボンシティについて

自由民主党大田区民連合



高瀬 三徳

マンション施策の推進について

問 住宅マスタープラン改定に際し、定住促進への取り組みを伺う。

答 成果指標を設定し、社会状況や区民意識の変化を把握・分析するため参考指標を設ける。誰もが生涯にわたり、健やかに暮らせる住まいと住環境の整備に取り組む。

問 分譲マンションの建て替え事例を受け止め、今後の住宅施策にどう反映させていくのか伺う。

答 立地条件、要除却認定による容積率の緩和制度の有効活用、区分所有者の積極的な取り組みにより、建て替え決議に至ったと考えている。建て替え制度の周知と相談を実施し、支援に努めていく。

大森駅西口のまちづくりについて

問 大森駅西口周辺の都市計画事業の経過報告と予定について伺う。

答 地権者及び地域の方へ資料の送付やポスティングを行い、周知に努めていく。測量は計画どおり、設計は認可申請の資料などを作成している。区民の理解と協力を得て境界立ち会いを実施し、令和5年の秋を目途に認可申請を行い、事業の着手へと進む計画である。

自由民主党大田区民連合



岸田 哲治

高齢者介護について

問 「2025年問題」に向けて、高齢福祉・次期計画について伺う。

答 高齢者の生活を支える計画策定を着実に進めていく。

問 施設整備の取り組みを伺う。

答 特別養護老人ホームの整備を進めている。積極的に介護施設の整備を進めるとともに、在宅介護サービスも充実させる。

問 介護人材の確保、育成について伺う。

答 介護・福祉従事者が分野や種別を超えて、連携を強化し、人材確保と育成に努めていく。

問 介護している家族の負担軽減策について伺う。

問 東工大との連携強化に努めていくべきと考える。

答 教授や多くのスタッフが支えられ、科学への興味を高める良い機会になっている。小、中、高、大と連続性のある科学教育が展開できるよう、施策を検討していく。



大森 昭彦

香川の水質改善について

問 水質改善の高濃度酸素水浄化施設の運用について伺う。

答 基本的に浄化が必要な時期には、24時間継続して稼働している。問 浄化施設が稼働し始めた令和3年度以降の効果検証について伺う。

答 水質悪化の原因であるスカムの発生はそれまでと比較して減少していることが確認されている。問 西蒲田一丁目の香川の水質を改善するための浄化施設の増設について、区の見解を伺う。

答 都と協議した結果、まず1か所を設置し、効果検証をすることになった。浄化施設の増設の必要性などについて検討していく。

問 水質改善に向けた職員の人材育成について、区の見解を伺う。

答 東京工業大学などの学識者による助言をいただきながら職員スキルアップを図り、より効果的な水質改善の実現を目指していく。

蒲田のまちづくり(香川関連)について

問 区として香川沿いをどのように整備していくのか、考えを伺う。

答 人々が散歩やウォーキングなどを楽しむことができるよう、回遊性に配慮した歩行者空間を創出することで、思わず歩きたくなり、四季を通じて自然や潤いが感じられる歩行者にやさしい香川沿いの散策路の整備に取り組んでいく。

避難行動要支援者の個別避難計画について

問 避難行動要支援者の個別避難計画について

質問と答弁は、質問者がまとめた要旨を掲載しています。



会議録検索システム

区議会の会議録を検索・閲覧できるシステムを区議会ホームページに掲載しています。

詳しくは、区議会ホームページの会議録をご覧ください。

問 区が優先的に支援する計画づくりについて見解を伺う。

答 避難計画を自身で作成する方には、個別避難計画書の様式を直接送付し、周知の徹底や計画作成を促進していく。作成された計画書をもとに内容の把握と分析に取り組み。また、地域ごとの課題や必要な支援を検討し、避難行動要支援者対策を推進していく。



渡司 幸

若者支援について

問 「大田区若者サポートセンターフラットおおた」の相談状況、今後の取り組みについて伺う。

答 現在、チャット相談が約3割である。今後は、ICTを活用した相談機能の拡充に取り組んでいく。**問** 地域との連携について伺う。

答 「フラットおおた」を拠点として社会参画を進めていけるよう、地域活動団体や関係機関などと連携し、取り組みを拡充していく。

産業振興について

問 「オンラインティ事業」など、特定分野の専門家の確保が必要と考えるがいかがか。

答 より高度な課題への対応ができる人材確保のため、ネットワークの拡大を加速させていく。

問 中小企業の方に、自社に合った支援策を探すことができ、相談支援につなげる機会の拡大が必要と考えるがいかがか。

答 「P10フロント」では、開設から10か月間で500件を超える相談に対応した。対面相談、巡回の機会、おおたデジタルピオなどを活用し、ビジネスサポートへ積極的に導いていく。

子どもの生活支援について

問 全ての子どもが充実した長期休暇を過ごすことができるよう、子どもの経験の支援について伺う。

答 家庭環境に左右されることなく、多様な経験ができるよう、大田区子ども生活応援基金の活用も視野に入れ、支援の輪を広げていく。

防災まちづくりについて

問 羽田地区における12年間の事業成果について伺う。

答 羽田二・三・六丁目地区において、不燃領域率は、事業開始時の35.3%から44.3%へと上昇し、延焼による焼失率も約80%から約25%へと大幅に改善している。



三沢清太郎

子育て支援策の方向性について

問 区も教育無償化にかじを切っていたが、見解を伺う。

答 教育の無償化など、少子化対策は国全体の課題であり、自治体ごとの財政力によってサービスの格差が生じることがないよう、必要な財源の確保と社会全体での費用負担の在り方も含め、国全体で幅広く検討を進めていくべきものと考えている。

計画的な施設整備について

問 区立小・中学校の建て替えや大規模改修に当たってのプールの整備について、今後は、学校にプールありきではなく、多様な観点からの検討・評価を行う時期にきているのではないかと。

答 公営プールや民間プールの活用、また、複数校での共同利用など、今後の学校プールの整備について検討していく。

喫煙環境整備について

問 今後の整備方針を示してほしい。**答** 京急蒲田駅西口については、重点設置計画場所として、今後整備していく方針である。



日本共産党大田区議団



荒尾 大介

問 コロナ禍などで経営困難に陥っている小規模介護事業所への経営支援を実施することを求める。

答 必要な支援を行い、介護サービスの維持向上に努めていく。**問** 要介護認定の特例措置が終了する2023年4月以降に混乱が起これることを想定し、認定調査に係る区職員の増員と調査委託事業者に対し、適切な支援を行うべき。

答 段階的な対応を取り、認定調査の質の向上と体制の強化を図る。

問 「住民が主人公」の立場を進める下丸子のまちづくりについて

答 下丸子駅周辺のまちづくりについて、「住民が主人公」の立場で多くの地域住民の声を反映させるべきである。

問 住民・民間・行政が連携した取り組みの検討を進めていく。

問 下丸子1号・2号踏切の改良は、まちづくりと切り離して速やかに進めるべき。

答 改良は、周辺のまちづくりと一体的に考えていく必要がある。



菅谷 郁恵

問 配置基準や子どもたちの権利を尊重する子育て支援策について

問 区立小・中学校の学校給食費の無償化を決定することを求める。

答 国全体で検討すべきものである。**問** 保育室の面積を測り直し、詰め込んできた保育施策の検証と区立保育園の民間委託を見直すべき。

答 環境の変化のため2023年度以降の民営化計画を見送っている。**問** 国に保育士の配置基準の見直しを求め、区が独自に保育士の配置

基準を改善する方向で見直すべき。

答 国や都の動向を注視する。

問 保育士応援手当の継続と宿舍借り上げ制度の継続を求める。

答 保育士応援手当も保育施設職員宿舍借り上げ支援事業も2023年度予算案に計上している。

問 物価高騰の中で、生活困窮者に寄り添う区政について

問 生活保護世帯に、区独自支援の冬季加算と夏季加算を行うべき。

答 また、住民税非課税世帯などに対し、5万円の現金支給を求める。**答** 区独自の給付は考えていない。



犬伏 秀一

問 自衛官の募集業務は区市町村の業務であるが、令和5年度4月の大田区の自衛官候補生は目標に対し17.6%しか採用することができていない。本庁舎及び18特別出張所において法に定めるとおり志願票受理などを行えないか。

答 区報掲載、掲示板への掲示など計画的な広報宣伝活動に努めている。志願票受理などは課題があるが自衛官募集パンフレットを本庁舎に加え、18特別出張所にも配架するなど取り組みを広げる。

問 様々な機会です区に自衛隊を招いて、区民と自衛隊が直接触れ合う機会をつくるべき。

答 地域の防災訓練への自衛隊員参加などの機会を通じて、地域住民の理解が広く得られるよう取り組んでいる。今後も、様々な機会を捉え、区民と自衛隊との交流促進を積極的に図っていく。

問 自衛隊を中学校の職場体験先に全校が取り入れるよう望む。

答 今後も、進路指導を通して、生徒が自立した社会人となるための資質・能力を育成していく。

立憲民主党大田区議団



平野 春望

ふるさと納税について

問 世田谷区が返礼品を拡充する方針に大転換した。減収に対して、今後の対策について伺う。

答 返礼品を巡っては、多くの自治体で返礼品の経費負担に苦しんでいる。今後も他区の動向を注視し、適切に対応していく。

学童保育について

問 学童保育における延長保育の拡大と保留児童数ゼロに向けた取り組みについて伺う。

答 受け入れ定員などの増加を計画し、令和5年度は元年度より400名の定員増とし、延長保育も学童保育を実施する全85施設のうち67施設で実施している。今後も学校改築に合わせた整備を中心とした取り組みを推進する。

特別支援教育について

問 増加するサポートルーム利用者に対し、今後支援に係る人員を増やしていくのか、区の見解を伺う。

答 小学校では、週4日固定で従事する学校特別支援員を現在の34人から12人増員する。中学校では、5年度の人的支援の配置時間数を4年度の2倍とし、支援体制を強化する。



馬橋 靖世

中学校部活動について

問 基礎自治体である区がそれぞれの特性に沿った部活動の地域移行を推進するため、各協会や連盟、団体などと協議の場を設置し、実効性の高い環境づくりを行う必要性を感じる。区の見解を伺う。

答 区では、様々な地域スポーツ団体や文化芸術団体が活動しており、部活動の地域移行に当たっては、

これらの団体と連携した実効性の高い環境づくりが不可欠であると考えている。この間、教育委員会と協議を行い、庁内で議論を重ね、地域のスポーツ団体とも意見交換を行っている。地域のスポーツ・文化団体などと連携・協力して体制整備も含め、より実効性の高い方策を検討していく。



小川あずさ

立憲民主党大田区議団

問 教員不足を改善する働き方改革について

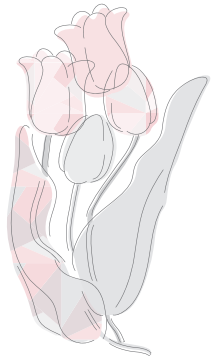
問 教員の働き方について、区の対処方法とその成果を伺う。

答 時間外在校等時間の短縮を目標に取り組み、一定の効果はあるが、月80時間を超える長時間労働者もいまだ一定数いる。令和5年度から勤怠管理システムの構築を予定しており、校務支援システムのリリースに合わせて、子育てや介護と仕事の両立を目指す教員向けにリモート環境を整備する。

夜間学級について

問 桜谷中学校夜間学級の現状を伺う。

答 桜谷中学校夜間学級は、5年1月現在の在籍生徒は3学年合計23名、年齢構成は10代が9名、20代が7名、30代が3名、40代が3名、50代が1名である。多様な生徒が在籍しており、数学、英語は習熟度別少人数指導を行っている。他の都内夜間学級との連合体育行事への参加、地域の防災訓練への参加などを通じ、様々な方とのつながりを大切にし、学が意欲を高めている。





区長
提出議案

令和5年度予算の概要

一般会計総額

3,147億6,863万6千円

地域課題に立ち向かい、ひととまちに寄り添い、豊かさと成長が両立する持続可能な未来への歩みを着実に進める予算

令和5年度は、『地域課題に立ち向かい、ひととまちに寄り添い、豊かさと成長が両立する持続可能な未来への歩みを着実に進める予算』と位置づけました。

感染症対策や自然災害への備え、急激な物価高騰等に直面する区民生活・区内経済を支える安全・安心を確保する取組、急速に進む少子高齢化、世帯構成の変化、複雑・複合化する地域課題を捉えた包摂的な地域づくりに向けた取組、世界共通の課題であるSDGsや脱炭素化を意識した取組、地域経済の持続的な発展と魅力あるまちづくりに向けた取組など、将来を見据えた取組に向け、施策の新陳代謝を進め、限りある経営資源を効果的・効率的に配分し、予算を編成しました。

- ① 感染症をはじめエネルギー問題や自然災害など危機に直面する区民生活を支え、地域の強靱化により安全・安心を確保する取組
- ② 安心して子どもを産み育て、学びやすい環境づくりを進め、誰もがライフステージに応じて活躍し、成長を支える包摂的な地域づくりに向けた取組
- ③ デジタル技術の活用やSDGs、脱炭素を意識し、地域経済の持続的な発展と快適で魅力ある都市機能の向上により都市間競争に打ち克つ取組

令和5年度予算の財政規模（会計別前年度比）

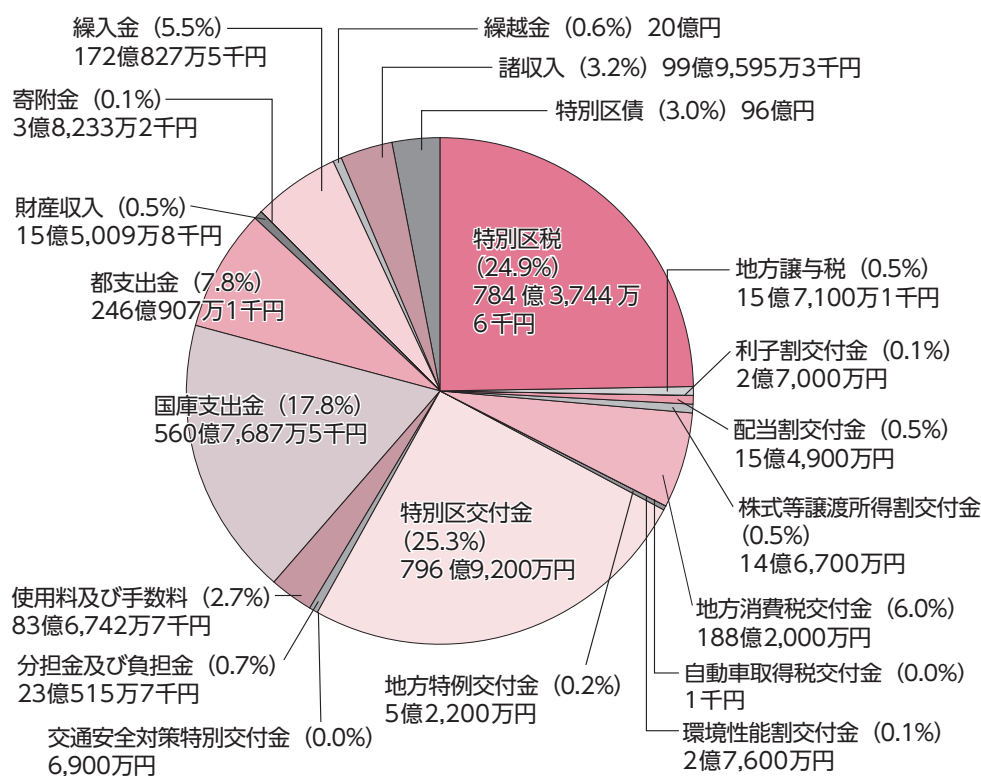
一般会計

3,147億6,863万6千円 (4.6%増)

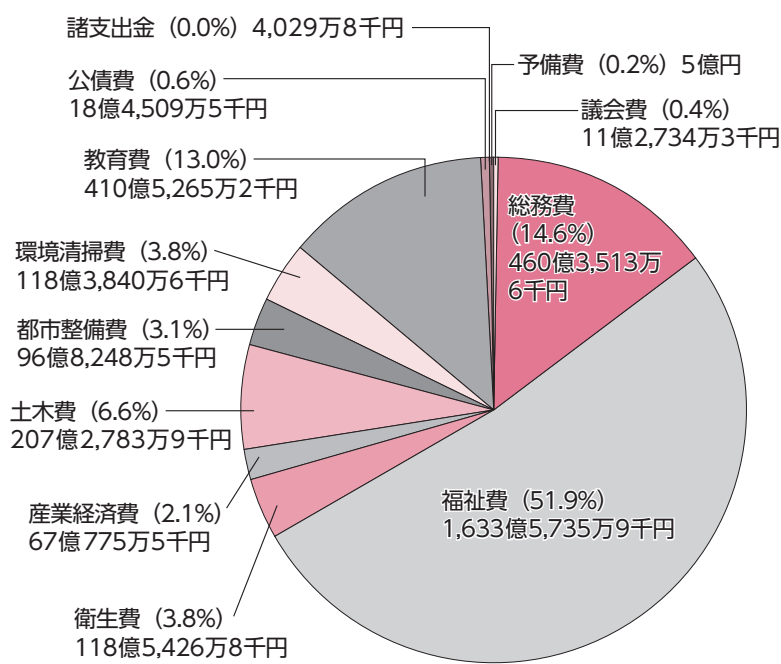
特別会計

国民健康保険事業	684億7,245万4千円 (4.0%増)
後期高齢者医療	193億1,978万4千円 (3.6%増)
介護保険	588億6,473万6千円 (0.9%増)

一般会計歳入 3,147億6,863万6千円



一般会計歳出 3,147億6,863万6千円



※グラフの計算は、原則として表示単位未満を四捨五入しています。
※カッコ内の数字は構成比を表しています。



大田区の予算を1万円にたとえると、そのつかいみちは…

高齢者や障がい者の福祉、保育園・児童館の運営など **福祉費** …… 5,190円
 防災対策や区役所・出張所の運営など **総務費** …… 1,461円
 小・中学校、教育関係の経費など **教育費** …… 1,304円
 道路、公園の整備など **土木費** …… 659円
 保健所の運営など **衛生費** …… 377円
 清掃事業など **環境清掃費** …… 376円

まちづくり事業など **都市整備費** …… 308円
 産業振興など **産業経済費** …… 213円
 区債の償還など **公債費** …… 59円
 区議会の運営 **議会費** …… 36円
 予備費 …… 16円
 諸支出金 …… 1円

令和
5年度

予算の主な質疑

予算特別委員会での議論から見る令和5年度予算の主な事業

子どもが夢と希望を持つことができる地域共生社会の実現

Q 都の出産応援ギフトで、にこにこサポートの自己負担にも使えるなど、使い勝手の良いクーポンを区で考えてもらいたい。

A 多彩なメニューを区市町村が独自にそろえることは難しいことから、都が広域連携事業を実施することとなったため、区は都の事業に参加することとした。ギフトの品目は、都が対象者や自治体からの要望を受けて、今後拡大を検討している。また、各区市町村の独自サービスと交換可能な都内共通券などの導入の可能性についても今後検討していく。

Q 独自教科や特別支援教育においては、専門性が高く、区の教育に対する情熱あふれる教員の安定的な確保が課題であると感じている。区の見解を伺う。

A 現在、特別支援学級介添員をはじめとする600人を超える会計年度任用職員を配置しているが、教員の負担を軽減する補助業務が主たるものとなっている。令和5年度に国際教育を推進するため大森東小学校に新設するおおたグローバルコミュニケーション（OGC）では、専門性が高い英語専科教員を会計年度任用職員として雇用し、配置する。



Q フード支援ネットワーク事業の取り組みについて活動が具体的にイメージできるように、広報の改善をしていただきたいと考えるが、区の見解を伺う。

A 大田区社会福祉協議会がこれまで蓄積してきた経験を踏まえ、地域の方がフードドライブ活動を行うに当たり、地域から食料を集めるための広報など、活動に何が必要かをイメージできるよう区ホームページやSNSなどを活用した周知・広報を行い、地域の方の活動を支援していく。

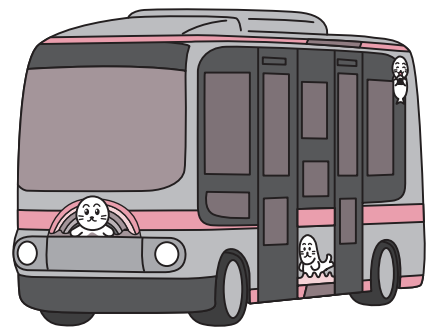
持続可能な環境先進都市おおたの実現

Q 令和5年度予定している住宅リフォーム助成の制度の拡充と区の考えを伺う。

A 省エネ効果の高い給湯器に着目し、住宅リフォーム助成のメニューを拡充する。太陽光発電利用型給湯器など省エネ効果の高い給湯器の選択メニューを拡充し、より利用しやすい制度にすることで環境への配慮を進めていく。また、断熱窓への改修など、環境への配慮メニューに関する住宅リフォーム助成を継続することで、建築物の脱炭素化に取り組み、ゼロカーボンシティを推進していく。

Q 脱炭素社会に向けた取り組みを推進するために、たまちゃんバスのEV化に当たり、グリーン電力の導入を進めていく必要があるが、区の見解を伺う。

A たまちゃんバスのEV化に際し、使用する電力も再生可能エネルギー由来の電力などを使用することにより脱炭素社会の推進になると考えている。たまちゃんバスへの再生可能エネルギー由来の電力の導入に向けて、電力の調達方法などを交通事業者と調整していく。併せて、車外広告のスペースに配慮しながら、二酸化炭素削減に向けた取り組みであるZEVであることの周知を効果的に行える車外デザインを検討する。



鉄道と魅力的なまちづくり宣言

～夢あふれ誰からも選ばれる都市「おおた」を目指して～

Q 蒲田地区は、国家戦略特区による道路占用事業が平成27年度から進められてきた。当該事業と同様の取り組みが行われることが令和9年3月31日以降も見込まれる場合は、同日まで適切な時期に歩行者利便増進道路の指定を受けることとされているが、道路管理者としての見解を伺う。

A 歩行者利便増進道路の指定とは、にぎわいのある道路を構築するための道路の指定制度である。歩行者の安全な通行幅員を確保の上、特例区域を設けて占用を認める制度であり、占用許可期間も5年から最長20年まで可能と認めている。蒲田駅周辺に関連する諸計画の推進に際し、居心地の良い滞在空間や快適な回遊を支えるゆとりある歩行者空間の創出などを進めるための一つの手段として制度を研究していく。



Q 平和島駅周辺のまちづくりの事業予算の目的と活用について伺う。

A 当事業の予算は、まちづくり協議会をはじめとする地域住民及び関係事業者などと課題を共有し、連携してまちづくりを進めるためのランドデザインの策定に向けた検討を行うものである。平和島駅周辺地域における駅前歩行者環境の改善や商店街のにぎわい創出などの地域課題に加え、まちの機能更新時期を迎えているため、まちの将来像やまちづくりの基本方針及び目標について検討していく。

令和
5年度

予算に対する 各会派の意見

令和5年度大田区一般会計予算及び国民健康保険事業・後期高齢者医療・介護保険の各特別会計予算について、2月16日の本会議で予算特別委員会（議長を除く43名で構成）を設置し、2月28日から3月9日までの実質6日間にわたり、集中的に審査しました。これらの予算に対する各会派の意見は次のとおりです。

なお、一般会計及び各特別会計予算は、賛成者多数で可決しました。

自由民主党大田区民連合

4期16年松原区長の集大成の予算

大田区では産業政策を積極的に行い、自動走行、宇宙開発、医工連携など新分野にも積極的に取り組みました。戦後、GHQの接収による48時間の強制退去という悲しみの歴史を経て大田区に返還された地に造られた羽田イノベーションシティでは今秋、藤田医科大学東京先端医療研究センターが完成し、国内外を問わない患者の来訪、治療と医療の中心としての大田区、羽田空港と大きく変貌を遂げています。また工業集積の場としての工場アパートの建設や旧羽田旭小学校敷地活用事業、コワーキングスペースとして六郷BASEの設置など既存の支援と現代に融合した支援の調和を進めました。更に新空港線の都区間協議が終わり、着工に向けての道筋を歩んでいます。新空港線は鉄道の建設にとどまらず、蒲田駅東西口の再開発などを一体としており、まちづくりの考え方を大きく前進させたものです。生活環境づくりとして大森ふるさとの浜辺公園・大森東水辺スポーツ広場のオープンや隈研吾氏による優しく愛着のある雰囲気の田園調布せせらぎ館を建設しました。子

育て支援施策として保育園増設による待機児童0を達成し、特別養護老人ホームについては区長就任の平成18年度末に10か所から4年度末で19か所、認知症グループホームは12か所から43か所へ増やすなど積極的に施策を進めました。このように多くの施策を進めた集大成が本予算であります。本予算における子ども施策、環境施策、まちづくり施策といった大きな柱は、10年後、20年後の大田区を見つめる上で大きなものと考えます。

賛成

●一般会計

●国民健康保険事業特別会計

●後期高齢者医療特別会計

●介護保険特別会計

日本共産党大田区議団

新空港線をやめ、異常円安・物価急騰から区民を守れ！

2023年度予算は高校生等医療費助成事業、住宅リフォーム助成の拡充、出産・子育て応援事業など、区民の声に応え評価する施策もありますが、①新型コロナと物価高騰で痛めつけられた区民への対策が不十分で、更に全事業を見直し、313項目6億6千万円余の削減を実施し、くらし・福祉の予算を切り捨て②それなのに新空港線及び鉄道沿線まちづくりで16億7千万円余、新空港線第三セクターに5億7千万円余の増資、事業積立基金に10億円の積み増しなど強引に進める大企業のもうけ優先の「まちづくり」の予算として③自治体の一層の民営化と再任用職員及び会計年度任用職員の活用により、職員の専門性、技術の継続が危うくなってきたこと、また「公民連携」により自治体の責任を放棄④デジタル化の一層の推進で窓口業務など、行政サービスのオンライン化による職員削減が進められていることの4点から党区議団は反対しました。更に党区議団は不要不急の新空港線関連予算などを減額し、小・中学校の給食無償化、議員の海外視察の中止、商店リニュー

ーアル助成、公園トイレの洋式化などの予算組み替え提案をしましたが否決されました。各特別会計は、国民健康保険料は約3割の滞納者にもかかわらず年平均11,550円の引き上げとなりました。後期高齢者医療は2年に1度の改定であり、毎回のように値上げとなり反対です。介護保険は依然として要支援1・2の介護外しが続いています。3年ごとの見直しで保険料の値上げと制度の改悪が進められ、保険あって介護なしで反対です。

反対

●一般会計

●国民健康保険事業特別会計

●後期高齢者医療特別会計

●介護保険特別会計

用語解説

予算特別委員会 区長が作成した一会計年度における、地方公共団体の収入支出などを見積もった予算を審査するために設置される委員会。

総括質疑、しめくり総括質疑 予算全般に関して行う質疑。所属議員が4人以上の会派が行うことができる。

款別質疑 予算・決算の費目の区分名である「款」「項」「目」「節」の分類の「款」ごとに歳出予算を区切って行う質疑。総務費、福祉費、衛生費、産業経済費、土木費、都市整備費、環境清掃費、教育費などに分けて行われる。
また、一般会計予算の歳入及び各特別会計予算の歳入歳出の質疑を含む。



予算特別委員会審査の様子



大竹辰治 副委員長 岸田哲治 委員長 松本洋之 副委員長

大田区議会公明党

福祉の充実と、選ばれる自治体へ積極予算

令和5年度一般会計予算は、大胆な発想と事務事業の見直しで施策の新陳代謝を積極的に進められたことを高く評価いたします。この1年、議会と行政で集中して意見を交わしてきた子育て世帯の流出防止への取り組みや、地球温暖化による自然災害に対する平時からの対策や訓練などの取り組みは、社会全体で喫緊に求められている重要な課題であります。今後も必要な施策として積極的な推進を要望します。また、「子どもが夢と希望を持つことができる」とうたわれていますが、同時に、子どもたちを育て支える親御さんたちも「夢」と「希望」を持つことができる施策の推進も併せて要望します。大田区議会公明党は区民の皆さまの声をもとに、今回の予算特別委員会において、様々な提案と要望を行いました。防災対策の視点からは、学校避難所でのペット同行避難訓練を、福祉の視点からは、病児保育の周知徹底と送迎サービスの導入を、子育て支援・妊産婦支援の視点からは、産後ドゥーラの確保と産前からの利用拡大を、健康政策の視点からは、乳がん検診における

超音波検査の導入を、まちづくりの視点からは、区営住宅・区民住宅の家具転倒防止器の取り付け跡の原状回復義務免除やベンチのある優しいまちづくりなどを、教育の視点からは、誰も取り残さない大田区の学校教育をそれぞれ要望しました。1日も早い実現を強く要望します。最後に、4期16年間、区政のかじ取りをしてきていただいた松原区長に対し、心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

賛成

- 一般会計
- 国民健康保険事業特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 介護保険特別会計

令和大田区議団
(無所属5 + 維新1)

議会は承認機関でなく議決機関であることを肝に銘じよ

令和大田区議団は全ての議案に賛成した上で以下の要望や提案をした。大田区も大阪府や品川区の事例を参考にし、保育料、学校給食費、塾代助成を含めた教育無償化にかじを切るよう要望する。区はブラジルオリンピック選手団の事前キャンプ受け入れや大森山王にドイツ学園があったことからブラジルとドイツと深いつながりがある。このつながりをいかし、ブラジルとドイツと子どもサッカー大会を開催することを提案する。東京朝鮮第六幼初級学校に対する補助金について、区は交付要件を設けず、補助金は23区内で最も高額、これでは令和5年度予算の871万2千円はお手盛り予算と言われても仕方ない。適切な見直しを要望する。今後、更なる大森地域の発展のためには、品川区民の協力が欠かせない。特に大森貝塚150周年イベントを品川区と連携し、大田区を発展させていくべき。区内商店街の減退による商店街装飾灯の撤去が急激に進み、それと同時に区内団体が設置した防犯カメラも処分されることに対して危機感を感じている。区内防犯体制の維持を望む。特

別出張所に勤務して地域事情を知ることは区職員がキャリアを形成していく上で欠かせない。1人でも多くの区職員が特別出張所勤務を経験することを望む。地方政治の二元代表制は、首長が政策決定を行い、執行機関である事業部局が計画を策定し、議決機関たる議会に示し決定するものである。しかし残念ながら「執行機関が意思決定する」という、地方議会の形骸化が本区でもみられることは極めて嘆かわしい。正しい構図に戻すことを強く望む。

賛成

- 一般会計
- 国民健康保険事業特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 介護保険特別会計



録画中継

本会議などの様子を録画したテレビ中継映像をインターネットで配信しています。



第1回

定例会で決まった議案など

○は全会一致（14件）
◆は賛成者多数（22件）

一 区長提出議案

令和5年度予算

一般会計

国民健康保険事業特別会計

後期高齢者医療特別会計

介護保険特別会計

詳細は6〜7面掲載のとおり。

令和4年度補正予算

一般会計（第6次）

1億7、298万5千円減額する（詳細は、11面に掲載）。

国民健康保険事業特別会計（第2次）

療養給付費等の増など、31億7、983万3千円増額する。

後期高齢者医療特別会計（第2次）

療養給付費負担金の減など、3、149万3千円減額する。

介護保険特別会計（第2次）

介護給付費準備基金積立金利子相当分の増として、95万8千円増額する。

条例の制定

◆個人情報保護に関する法律の改正等に伴う関係条例の整理に関する条例
個人情報保護の保護に関する法律の改正及び大田区個人情報保護に関する法律施行条例の制定に伴い、規定を整理する。

◆大田区情報公開条例
個人情報保護の保護に関する法律の改正に伴い、規定を整理する。

◆大田区情報公開・個人情報保護審議会条例
個人情報保護の保護に関する法律の改正及び大田区個人情報保護に関する法律施行条例の制定に伴い、規定を整理する。

◆大田区立大森海苔のふるさと館の期間を設けて展示する催しにおいて、観覧料の区分を改めるとともにその上限額を引き上げるほか、規定を整備する。

◆大田区情報公開・個人情報保護審査会条例
個人情報保護の保護に関する法律の改正に伴い、規定を整理する。

◆職員の手当に関する条例
フルタイム会計年度任用職員等における退職手当の支給要件を緩和するほか、規定を整備する。

◆大田区印鑑条例
デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律による、電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の改正に伴い、規定を整備する。

◆大田区手数料条例
マンシヨンの管理の適正化の推進に関する法律、都市の低炭素化の促進に関する法律、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律等の改正に伴い、規定を整備する。

◆大田区民ホール条例
付帯設備及び特殊器具の使用料の上限額を引き上げるほか、規定を整備する。

◆大田区立熊谷恒子記念館条例の施設の供用停止に関する条例
大田区立熊谷恒子記念館の供用停止期間を変更する。

◆大田区立龍子記念館条例
大田区立龍子記念館の特別入館料の上限額を引き上げるほか、規定を整備する。

◆大田区立郷土博物館条例
大田区立郷土博物館の期間を設けて展示する催しにおいて、観覧料の区分を改めるとともにその上限額を引き上げるほか、規定を整備する。

◆大田区立大森海苔のふるさと館条例
大田区立大森海苔のふるさと館の期間を設けて展示する催しにおいて、観覧料の区分を改めるとともにその上限額を引き上げるほか、規定を整備する。

大田区立大森海苔のふるさと館の期間を設けて展示する催しにおいて、観覧料の区分を改めるとともにその上限額を引き上げるほか、規定を整備する。

◆大田区立勝海舟記念館条例
大田区立勝海舟記念館の特別入館料の上限額を引き上げるほか、規定を整備する。

◆大田区保育の必要性の認定等に関する条例
子ども・子育て支援法の改正等に伴い、規定を整備する。

◆大田区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
子ども・子育て支援法の改正等に伴い、規定を整備する。

◆大田区家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、安全の確保に関する計画の策定を加えるほか、規定を整備する。

◆大田区国民健康保険条例
出産育児一時金の額、一般被保険者に係る基礎賦課額の保険料率等を改定するほか、国民健康保険法施行令等の改正に伴う規定の整備をする。

◆大田区立高畑小学校校舎増築その他工事請負契約
契約金額を6億4、680万円
契約の相手方：株式会社河津建設

◆大田区立龍子記念館の特別入館料の上限額を引き上げるほか、規定を整備する。

◆大田区立郷土博物館の期間を設けて展示する催しにおいて、観覧料の区分を改めるとともにその上限額を引き上げるほか、規定を整備する。

◆大田区立大森海苔のふるさと館の期間を設けて展示する催しにおいて、観覧料の区分を改めるとともにその上限額を引き上げるほか、規定を整備する。

◆大田区立大森海苔のふるさと館の期間を設けて展示する催しにおいて、観覧料の区分を改めるとともにその上限額を引き上げるほか、規定を整備する。

から3億2、078万8、600円に変更する。

◆香川合流改善貯留施設立坑設置工事請負契約
処分日：令和5年1月11日
契約金額を28億9、295万6、000円から29億661万8、000円に、工期を令和6年3月14日から令和6年11月7日に変更する。

◆大田区仲池上二丁目付近管渠改良その2工事（下水道）請負契約
処分日：令和5年1月11日
契約金額を1億3、453万円から1億4、055万8、000円に変更する。

◆大田区民ホールアプリコ特定天井改修その他工事請負契約
処分日：令和4年12月21日
契約金額を10億980万円から10億1、688万4、000円に変更する。

◆大田区立大森第七中学校校舎改築及び外構その他工事（Ⅱ期）請負契約
処分日：令和4年12月28日
契約金額を7億8、725万9、000円から7億9、608万1、000円に変更する。

◆大田区立雪谷中学校武道場増築その他工事請負契約
処分日：令和5年1月13日
契約金額を4億5、977万8、000円から4億6、558万6、000円に変更する。

◆大田区立蒲田小学校校舎増築その他工事請負契約
処分日：令和5年1月12日
契約金額を3億6、300万円から3億8、109万5、000円に、工期を令和5年2月24日から令和5年3月10日に変更する。

◆大田区産業プラザ特定天井改修その他工事請負契約
処分日：令和5年1月5日
契約金額を3億5、053万7、000円から3億5、181万3、000円に変更する。

◆大田区田園調布水防センター新築工事請負契約
処分日：令和5年1月13日
契約金額を2億3、870万円から2億4、880万9、000円に、工期を令和5年1月31日から令和5年2月28日に変更する。

◆大田区立雪谷文化センター外壁改修その他工事請負契約
処分日：令和5年1月12日
契約金額を1億5、950万円から1億6、416万4、000円に変更する。

◆大田区立大森第一小学校校舎（棟番号⑪-1、2及び⑬）外壁改修その他工事請負契約
処分日：令和5年1月5日
契約金額を1億5、895万円から1億6、238万2、000円に変更する。

◆大田区民ホールアプリコ特定天井改修その他電気設備工事請負契約
処分日：令和4年12月21日
契約金額を3億3、858万円から3億5、357万3、000円に変更する。

◆大田区民ホールアプリコ特定天井改修その他機械設備工事請負契約
処分日：令和4年12月21日
契約金額を3億3、858万円から3億5、357万3、000円に変更する。

◆大田区民ホールアプリコ特定天井改修その他電気設備工事請負契約
処分日：令和4年12月21日
契約金額を3億3、858万円から3億5、357万3、000円に変更する。

◆大田区民ホールアプリコ特定天井改修その他電気設備工事請負契約
処分日：令和4年12月21日
契約金額を3億3、858万円から3億5、357万3、000円に変更する。

◆大田区民ホールアプリコ特定天井改修その他電気設備工事請負契約
処分日：令和4年12月21日
契約金額を3億3、858万円から3億5、357万3、000円に変更する。

◆大田区民ホールアプリコ特定天井改修その他電気設備工事請負契約
処分日：令和4年12月21日
契約金額を3億3、858万円から3億5、357万3、000円に変更する。

◆大田区民ホールアプリコ特定天井改修その他電気設備工事請負契約
処分日：令和4年12月21日
契約金額を3億3、858万円から3億5、357万3、000円に変更する。

◆大田区民ホールアプリコ特定天井改修その他電気設備工事請負契約
処分日：令和4年12月21日
契約金額を3億3、858万円から3億5、357万3、000円に変更する。

◆大田区民ホールアプリコ特定天井改修その他電気設備工事請負契約
処分日：令和4年12月21日
契約金額を3億3、858万円から3億5、357万3、000円に変更する。

◆大田区民ホールアプリコ特定天井改修その他電気設備工事請負契約
処分日：令和4年12月21日
契約金額を3億3、858万円から3億5、357万3、000円に変更する。

◆大田区民ホールアプリコ特定天井改修その他電気設備工事請負契約
処分日：令和4年12月21日
契約金額を3億3、858万円から3億5、357万3、000円に変更する。

◆大田区民ホールアプリコ特定天井改修その他電気設備工事請負契約
処分日：令和4年12月21日
契約金額を3億3、858万円から3億5、357万3、000円に変更する。

◆大田区民ホールアプリコ特定天井改修その他電気設備工事請負契約
処分日：令和4年12月21日
契約金額を3億3、858万円から3億5、357万3、000円に変更する。

○立本宗一 ○金田行英
○滑川明 ○新倉太郎
◆委員会提出議案
◆大田区議会個人情報保護条例
個人情報保護の保護に関する法律の改正に伴い、必要な事項を定める。

議会録画中継の動画配信のご案内

～スマートフォンなどから手軽にご視聴いただけます～

二次元コードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、議会の録画中継をご視聴いただけます。
※視聴に当たり事前に読み取り用アプリのインストールが必要となる場合があります。

簡単アクセス!



聴覚などに障がいのある方へ

本会議及び委員会では、手話通訳者の派遣とFM受信機の貸し出しを行っています。

●手話通訳者を希望される方
傍聴希望日の7日前までに問い合わせ先へお申し出ください。

●FM受信機の貸し出しを希望される方
傍聴の際にお申し出ください。



簡単アクセス!

問い合わせ先 議会事務局 FAX5744-1541 電話5744-1474



○：賛成 ×：反対 棄権：表決に加わらなかった

第1回 定例会 意見が異なった議案に対する各会派の態度一覧		自	公	共	令	立	フエ	無	フォ	結果	
令和5年度予算	一般会計	○	○	×	○	×	×	○	○	可決	
	国民健康保険事業特別会計	○	○	×	○	○	×	○	○	可決	
	後期高齢者医療特別会計	○	○	×	○	○	×	○	○	可決	
	介護保険特別会計	○	○	×	○	○	×	○	○	可決	
令和4年度補正予算	一般会計（第6次）	○	○	×	○	○	×	○	○	可決	
	国民健康保険事業特別会計（第2次）	○	○	×	○	○	×	○	○	可決	
	後期高齢者医療特別会計（第2次）	○	○	×	○	○	×	○	○	可決	
	介護保険特別会計（第2次）	○	○	×	○	○	×	○	○	可決	
条例の制定	個人情報保護に関する法律の改正等に伴う関係条例の整理に関する条例										
条例の一部改正	大田区情報公開条例	○	○	×	○	○	×	○	○	可決	
	大田区情報公開・個人情報保護審議会条例	○	○	×	○	○	×	○	○	可決	
	大田区情報公開・個人情報保護審査会条例	○	○	×	○	○	×	○	○	可決	
	職員の退職手当に関する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	可決	
	大田区印鑑条例	○	○	×	○	○	×	○	○	可決	
	大田区手数料条例	○	○	○	○	○	×	○	○	可決	
	大田区民ホール条例	○	○	○	○	○	×	○	○	可決	
	大田区立龍子記念館条例	○	○	×	○	○	×	○	○	可決	
	大田区立郷土博物館条例	○	○	×	○	○	×	○	○	可決	
	大田区立大森海苔のふるさと館条例	○	○	×	○	○	×	○	○	可決	
	大田区立勝海舟記念館条例	○	○	×	○	○	×	○	○	可決	
	大田区国民健康保険条例	○	○	×	○	○	×	○	○	可決	
議員提出議案	大田区議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	×	×	○	×5 棄権 ¹	○	○	×	○	否決	
	大田区まちなか商店リニューアル助成条例	×	×	○	×	×	×	×	×	否決	
	大田区高齢者補聴器購入費助成条例	×	×	○	×	○	○	×	×	否決	
	地域力を生かした大田区まちづくり条例の一部を改正する条例	×	×	○	×	×	×	×	×	否決	
委員会提出議案	大田区保育の必要性の認定等に関する条例の一部を改正する条例										
委員会提出議案		大田区議会個人情報保護条例									
会派名 (所属議員数)	自…自由民主党大田区民連合 (15) 公…大田区議会公明党 (10)		共…日本共産党大田区議団 (7) 令…令和大田区議団 (無所属5+維新1) (6)			立…立憲民主党大田区議団 (3) フエ…フェアな民主主義 (1)		無…大田無所属の会 (1) フォ…東京政策フォーラム (1)			

令和4年度一般会計補正予算（第6次）を可決

第1回定例会に提出された令和4年度一般会計補正予算（第6次）は、第5次補正予算編成後に生じた状況の変化に速やかに対応し、不用額精査や執行努力、一般財源の伸びにより生まれた財源を活用し、財政の持続可能性を確保するための予算として、1億7,298万5千円を減額するものです。今回の一般会計補正予算で計上された主な事業は、以下のとおりです（▲は減額）。

一般会計補正予算（第6次）の主な事業

総務費	公共施設整備資金積立基金積立金	20億672万9千円
	予算執行精査による積立及び利子相当分の積立	
福祉費	前年度国・都支出金等返還金（児童福祉費）	14億3,134万8千円
	過年度分実績確定に伴う返還（子ども・子育て支援交付金等）	
衛生費	前年度国・都支出金等返還金（保健衛生費）	21億1,952万7千円
	過年度分実績確定に伴う返還（新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業等）	
産業経済費	商店街チャレンジ戦略支援事業	▲6,455万5千円
	執行見込による減	
土木費	合流改善貯留施設整備	▲2億円
	貯留管設置工事に係る経費の減	
都市整備費	用地折衝関連事業	1億7,364万5千円
	執行見込による減及び国庫補助事業の補正対応に伴う用地購入費の増	
環境清掃費	職員人件費（清掃管理費）	▲4,420万円
	人員減、共済費の減、異動に伴う職員構成の変動等による減	
教育費	校舎の改築等（小学校費）	▲6億4,997万7千円
	契約落差等による減	
公債費	特別区債償還利子等	▲1億523万1千円
	特別区債発行に係る経費の減	

第1回 定例会

委員会付託された請願・陳情の結果

今定例会で委員会付託された請願・陳情の結果は以下のとおりです。

	審査結果	
総務財政委員会	敵基地攻撃能力保有を決定した政府方針の撤回と、平和外交を求める意見書採択の陳情	不採択
	核兵器禁止条約に署名・批准することの意見書を日本政府に提出することを求める陳情	不採択
健康福祉委員会	令和五年度以降障害者の通院等介助を担う居宅介護のサービス量の確実な確保を願う陳情	継続
	高齢者補聴器購入費助成事業の拡充を求める陳情	不採択
まちづくり環境委員会	加齢性難聴者への補聴器購入の助成拡大とさらなる支援を求める陳情	不採択
	区立三輪児童公園のトイレ洋式化の陳情	継続
子ども文教委員会	西蒲田公園の整備を求める陳情	継続
	区立小中学校の給食費の無償化に関する陳情	継続
	馬込第三小学校の校舎改築事業についての陳情	不採択
議会運営委員会	すべての子どもたちがすこやかに育つ大田区をめざすための請願	不採択
	重度視覚障害者が区議会へ請願・陳情を申請する場合の合理的配慮を求める陳情	継続
羽田空港対策特別委員会	重度視覚障害者が区議会を傍聴する際の情報アクセシビリティ等合理的配慮を求める陳情	不採択
	大型機のB滑走路離陸による騒音の影響について実態調査の実施を願う陳情	不採択



委員会防災訓練を実施しました

令和5年1月13日、常任委員会開会前に防災訓練を実施しました。

訓練の目的は、委員会開会中に弾道ミサイル発射によるJアラートが発報された際、適切に対応できるようにすることとし、弾道ミサイルが関東近郊の海上に落下した想定で行いました。

訓練では、Jアラート発報時に、委員長が議事を一時中断し、頭部を守り避難することや、議長が議会における災害対応方針に基づき委員会閉会要請を判断し、委員長が委員会の閉会を宣言する流れの確認などを行いました。



直ちに、窓のない廊下に避難する様子



議長が事務局職員から第一報を受けている様子



議長が委員会閉会要請を判断する様子

区議会だより254号(令和4年第4回定例会号)のお詫びと訂正について

令和5年1月1日発行の区議会だより254号の記載に一部誤りがありました。

深くお詫び申し上げ、次のとおり訂正させていただきます。

●2面 代表質問2段目の3・4行目

【誤】「説明会やパブリックコメントを行った。」

【正】「説明会やパブリックコメントを行い、」

議員研修会を開催

大田区議会では、区が抱える課題について知識や対応策の理解を深めるため、各分野の専門家を招き、毎年全議員を対象とした研修会を開催しています。令和4年度の内容は次のとおりです(オンラインと対面を併用して開催)。

- 開催日 令和4年10月6日(木)
- テーマ 災害時の議員の役割(心得)
- 講師 青山 侑氏(明治大学名誉教授)

近年、大田区において地震や大雨・台風など災害の発生が増え、そのたびに甚大な被害を受けてきました。今後いつ、どこで起こるかわからない災害に対応できるよう、防災・減災のための組織体制づくりが急務となっています。

講師として青山侑氏をお招きし、過去に発生した災害への対応や想定外の災害に備えるための危機管理、災害時における議員の役割・心得についてご講話いただきました。



研修会の様子

- 開催日 令和5年2月24日(金)
- テーマ 職場のハラスメントについて
- 講師 松野 航大氏(一般社団法人長谷川メンタルヘルス研究所、武蔵野大学通信教育部人間科学部 講師)

組織などで働く以上、誰もがハラスメントの被害者又は加害者になる可能性があります。したがって、どのような言動がハラスメントに該当するのか、なぜハラスメントとみなされるのかなどについて、正しい知識を身につける必要があります。

講師として松野航大氏をお招きし、ハラスメント防止のためにはひとりで抱え込まないことや、コミュニケーションを大切にするといった、一人ひとりが心掛けるべきことなどを中心にご講話いただきました。



研修会の様子

議会ICT化先進議会視察

- 期間 令和5年1月30日(月)から1月31日(火)まで
- 視察場所 愛知県知立市議会、愛知県安城市議会、岐阜県可児市議会
- 視察議員 湯本良太郎、松本洋之、岸田哲治、深川幹祐、末安広明、杉山公一、須藤英児、荻野稔

大田区議会は、議会改革の一環として平成26年にICT化調査・研究会を設置し、これまでタブレット型端末の導入、ペーパーレス会議の実施、グループウェアによる情報連絡体制の確立などに取り組んできました。

本視察では、ICTを活用した情報発信の在り方や議会改革の事例などを学び、区議会のICT化を更に推進するため、知立市議会、安城市議会、可児市議会を訪問しました。

いずれの議会においても資料のペーパーレス化に加え、議場内に設置した大型モニターを活用した議会運営、コロナ禍を契機とした委員会や議会報告会のオンライン開催などを行っていました。

他にも、タブレット型端末を活用した電子採決システムの導入、傍聴者用資料のペーパーレス化、議会改革のための市民アンケートの実施、ママさん議会や高校生議会の開催など、本区議会での取り組みにない先進的な事例を学びました。

本視察を踏まえ、本区議会においても様々な視点から調査・研究を行い、引き続き議会のICT化、議会改革を推進していきます。



可児市議会議場にて